

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

3-3

3-3

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理	取組項目	遺跡の保存等に係る調査研究の推進
節		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業(施策)名	3 佐渡鉱山関係資料調査	関連団体	県文化行政課、佐渡市社会教育課
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○ 構成資産の価値をより高め、遺跡の保存や整備活用のための基礎資料とするため、佐渡金銀山遺跡に係る調査研究を推進する。	
	【事業内容】	○ 構成資産に関する文献資料や絵図・図書類等の資料を対象とし、長期的な視点に立った調査研究の計画策定、構成資産の価値を深めるための研究を推進・継続する。	
事業計画と実績	【R2年度計画】	● 世界遺産登録に向けた各種事業の優先順位を整理し、中・長期の資料調査計画を策定する。	
	【R2年度実績】	● 史跡整備基本計画に記載された内容を踏まえ、中・長期の資料調査計画を策定した。	
課題・今後の取組	【課題】	■ 学術的な調査は、長期的な事業計画を定めた上で、他の事業との調整を図る必要がある。	
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 佐渡金銀山遺跡の保存・活用に向けた各種整備事業の際には、関係資料調査の必要性を検討し、必要に応じ調査等を実施する。 ■ 味方家文書等の古文書・絵図の調査や近代の鉱山関係図面のデジタルデータ化を計画的に実現する。 	
事業評価	【事業の達成度】 [a・ b ・c] 【事業実施の効果】 [a・ b ・c] 【総合評価】 [A・ B ・C]	◇ 本事業は、書類調査等を継続していくものであり、令和4年度末までの累積的な目標は設定していないが、概ね計画どおりに進んでおり、一定の成果が得られていることからB評価とした。	

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。